

金沢大学人社学域 GS 科目  
2018 年度「法政基礎論 B」期末試験  
2019 年 2 月 5 日（火）17:15-18:00 実施  
足立英彦出題分 解答・解説

4. つぎの二つの間に答えなさい。

(ア) 自然科学と法学の共通点と相違点を説明しなさい。

**解答例** 自然科学と法学は、ともに様相を含む命題を仮説として立て、それが真であることを論証しようとする学問であるという共通点がある（以上 20 点）。他方、自然科学が論証しようとする様相命題に含まれる様相は真理様相であり、したがってその命題は現実世界を含むすべての可能世界の状況についても記述しているのに対して、法学が論証しようとする様相命題に含まれる様相は義務様相であり、したがってその命題は可能世界のうち理想的な世界についてのみ記述しているという相違がある（以上 20 点）。この相違は、自然科学と法学における仮説の論証方法の違いを説明する。たとえば、自然科学者がその真偽を確かめようとする命題が「プレートが動けば必ず地震が起こるにちがいない」であれば、その命題は、現実世界においても「プレートが動けば地震が起こる」ということを含意しているので、調査や実験等でその仮説と異なる現実を示すことができればその仮説が誤りであることを論証したことになる。他方、たとえば法学者がその真偽を確かめようとする命題が「乙は甲に対して、元本に対して年 30% の利息を支払わなければならない」という借用書の文言である場合、この文言は「乙は甲に対して、元本に対して年 30% の利息を支払う」ということを含意していないので、乙が甲に対して年 30% の利息を支払わなかったことを示しても、それが誤りであったことを論証したことにはならない（そのためには当該命題が利息制限法に反することを指摘する）（以上 10 点）。

**解説** 重要な点に関する誤りは 5 点減、軽微な誤りは 2 点減とした（(イ) も同様）。

(イ) 授業の内容を踏まえて正義について説明しなさい。

**解答例** アリストテレスによれば、正義は合法性と平等を意味する。前者は法に従うことであり、後者は何かと何かが等しい、すなわち同じであることである（以上 10 点）。

平等の意味での正義には、平均的正義と分配的正義とがある。平均的正義とは、2 者間で利益や負担が等しいことである。この平均的正義は、さらに交換的正義と矯正的正義に分けられる。交換的正義とは、売買や交換などで引き渡される物や貨幣の価値が同じであることを、矯正的正義は、犯罪や不法行為などの不正な行為がなされた際に、その被害者が蒙った負担、すなわち被害や損害の重みと、元の状態に戻すために加害者に課される負担、すなわち刑罰や賠償の重みが同じであることを指す（以上 20 点）。これに対して分配的正義とは、「等しき者は等しく扱え」という標語で表される原理であり、狭義では同じ性質を有する者に同じ利益や負担を配ることを意味するが、広義では、各人の性質に応じて、その性質に見合った分配をすることを意味する。

分配的正義の原理は、人々が有するどのような性質に着目して「等しい者」を決めるべきなのか、また、そのようにして選ばれた等しい者の集団をどのように扱うべきなのかについては何も語らない（以上 20 点）。この「性質」と「扱い方」は、その分配でどのような目的を達成しようとするのかに左右されるので、正しい分配をするためには、その分配の目的も正しくなければならない。さらに、目的が正しくても、分配の方法がその目的を実現するのに適していなかったり、他の目的を不必要に侵害していたり、過度に他の目的を侵害していれば、その分配は正しくない。したがって、目的に適合していること（適合性）、不必要に他の目的を侵害していないこと（必要性）、侵害される他の目的の重みと釣り合っていること（相応性）という条件を満たす

ことも分配の正しさにとって必要である。

解説 二日目の授業で説明した目的の正当性，分配方法の適合性・必要性・相応性の部分は採点対象外とした。

参考情報（2019年2月18日現在）

- 試験結果概要

履修登録数	期末試験受験者数	放棄	問4 選択者数	問4 平均点
147	142	5	17	89.4

- 問4 成績分布

S(100-90)	A(89-80)	B(79-70)	C(69-)	不可
8	5	4	0	0